

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新川耕地における体験農園・市民農園等開設支援推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課			
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	新川耕地内の遊休農地	意図	荒廃化が進行しないようになる。
事業内容	新川耕地内の遊休農地所有者が、遊休農地に体験農園や市民農園を開設することとなった場合、設立時に支援を行う。 設立後は、定期的な利用促進のためのPRを行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度に新川耕地内に体験農園が開設され、同地区の活性化に貢献する施設として、本事業が開始された。追隨する農地所有者は、その後あらわれていない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	新川耕地内の体験農園数	1	0	0	園	→→
②	新川耕地内の市民農園数	0	0	0	園	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆新川耕地を含めて全市域を対象に遊休農地の荒廃化の抑止策として「農用地利用集積推進事業」を実施している。 ◆新川耕地内にあった体験農園は、諸事情により平成26年度で閉園となった。		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	138,200	150,600	137,300
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	農園開設の打診	③取組の課題	農地所有者の意向の確認
②今年度(H28)に実施した取組	新川耕地内の体験農園が閉園したが、利用率が良くなかったことから、新たな農園開設についての呼びかけは行わなかった。	④今後の改善計画	体験農園・市民農園の必要性について周知する。